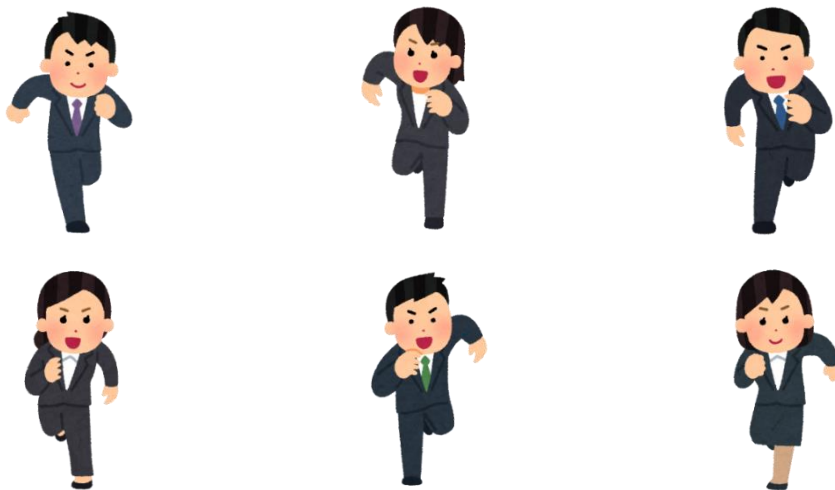


# 令和5年度 宝塚市自立支援協議会 専門部会活動経過報告書

- くらし部会活動経過報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
- けんり部会活動経過報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6
- しごと部会活動経過報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・11
- こども部会活動経過報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・17



令和5年（2023年）11月  
宝塚市自立支援協議会



● くらし部会 活動経過報告

第1回 くらし部会 会議議事録	
日時・場所	令和 5 年 7 月 14 日(金) 14:00~16:00 宝塚市役所 3 階 2-3 会議室
出欠者	出席者 15 名 欠席者 2 名
議題	内容(決定事項等について)
1.自己紹介	・常任委員紹介。自己紹介を行う。
2.昨年度の振り返り	<p>○前年度の振り返り</p> <p>・今年度よりくらし部会となったが、昨年度の課題を引き続き協議していく。今年度は「医療・かかりつけ医との連携」「まちづくり協議会との連携(障碍(がい)理解の啓発)」と、昨年度ワーキングで作成した「冊子のお披露目会(啓発として)を企画」の3つを進めていく。</p> <p>○まちづくり協議会との連携</p> <p>・次のステップとしてまちづくり協議会と連携し、避難訓練や街歩きを通じて障碍(がい)理解を具体的に考えていく。</p> <p>○医療・かかりつけ医との連携</p> <p>・往診や訪問診療に関わる情報の提供を積極的に行っていく。現在、医師会ホームページからも確認できるが、どのように活用していくか。必要な方に情報が届くのか具体的に考えていく。</p>

<p>3.今年度取り組みについて</p>	<p>【委員より意見交換】</p> <p>○医療に関する現状・情報共有について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実際に往診してもらっている。以前は高齢がメインだったが、障碍(がい)児の医療についても関心がある。</li> <li>・情報共有に関しては、ロコミでママ友からの情報が多く、横の繋がりが無い方は相談支援専門員からの情報しかない。繋がっていない方々にも情報がいけば・・・相談支援専門員は情報を持って欲しい。</li> </ul> <p>⇒特定相談支援事業所連絡会でも情報共有する。一方で連絡会での内容をくらし部会でも共有する。相談支援専門員だけではすべての情報を把握することは難しい為、重層的に地区の委託相談支援事業所職員にも相談することもあり、今後も情報のやり取り等の方法を検討する。</p> <p>○緊急対応について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉強化型・医療型が宝塚市内はショートステイができない状態。市立病院側も看護師が不足。</li> <li>・日中サービス支援型のグループホームも2箇所できるが、そこでショートステイの受け入れができれば。</li> </ul> <p>⇒人材や福祉サービスの事業所も不足しており、今後も検討が必要。</p> <p>○かかりつけ医について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・専門的な病院に雇われていても、身体面などに関しては病院に行けず、医療受診できていない方もいる。</li> <li>・事業所に行かれている方は、自身で病院に行けているが、中には精神状態が悪化する方がいて、内服や受診を拒まれることも多く、往診してもらえ病院があれば良いと思う。訪看利用されている方は、医療に繋がる場合もある。</li> </ul> <p>○障碍(がい)啓発に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域ごとにまちづくり計画を作成されており、障碍(がい)理解の計画を載せているところが大半あるが、コロナ禍で活動が停滞している。その他の活動も同様。今年度よりコロナが5類になり今後活動が活発に期待できる。</li> <li>・まちづくり計画は令和3年度からスタートしており、5か年計画で策定されているので主な変更はない。</li> <li>・まちづくり協議会の福祉部会として、啓発活動を行っているが一般の方にまでは浸透していない。イベント(祭)も再開傾向にあり、イベントを通して</li> </ul>
----------------------	--

	<p>関わりを作っていきたいと思っている。しかしその場だけの関係で終わっており、地元での関わりに繋がっていない。実際に災害が起きた時に地元の当事者を助けに行けるほどの繋がりはない。</p> <p>⇒ある地区では、災害時要援護者の対応として実際に防災訓練に参加依頼もきており、意欲的な地域もある。</p> <p>・駅のバリアフリー化の工事が今月より開始となり、身障連から意見交換に参加している。</p> <p>○地域での災害時対応について</p> <p>・委員が防災訓練に参加し、くらし部会で状況等共有していく。</p> <p>・身体以外の知的・精神障碍(がい)の方に対しても防災訓練に参加の声が掛かれれば、事業所がある地域の中で地元自治会等と連携もできるのか。</p> <p>⇒事業所もBCP(事業継続計画)の策定もあり、摺り合わせが必要。</p> <p>・事業所としても、民生委員や地元住民との関わりを意識している。声を掛けてくれる方も増えてきており、これから考えていく。</p> <p>・法人でもBCPを策定しているが、事業所が商業施設に入っていることもあり、地域に出たの対応についてはまだできていない。まち協の避難訓練等には参加していく予定。</p>
--	--

<b>第2回 くらし部会 会議議事録</b>	
日時・場所	令和5年9月15日(金)14:00~16:00 総合福祉センター スミレン横会議室
出欠者	出席者13名 欠席者4名 次回予定 令和5年11月17日(金) 14時~16時 総合福祉センター 301・302室
議題	内容(決定事項等について)
1. 前回の振り返り	・前回の議論内容について共有する。
2. 今後の進め方について	○今後のくらし部会の議論方法に関しては、今年度の取り組みテーマである、「医療・かかりつけ医との連携」「まちづくり協議会との連携(障碍(がい)理解の啓発)」「冊子のお披露目会(啓発として)を企画」の3つのテーマを各グループに分けて話し合い、(前半 1時間程度)そして全体共有する。(後半 1時間程度)

	<p>次回以降の第3回(11月17日)、第4回(1月12日)でグループ討論を実施。</p>
<p>3. 意見交換</p>	<p>○冊子について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワーキングメンバーで作成したが、部会委員の中に知らない方もいる。</li> <li>⇒事業所を中心に配布しており、配布方法は今後検討が必要。(病院や養護学校に配布するなどの意見もある。)</li> <li>・周知として、精神障碍(がい)に関する映画の上映会も兼ねて冊子のお披露目会を検討している。</li> </ul> <p>○特定相談支援事業所連絡会との情報共有</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事務局会議にて各専門部会の報告は行っている。今年度、第2回 定例会・全体会で専門部会と共に、事務局会議と特定相談支援事業所連絡会の報告も追加予定。</li> </ul> <p>○医療・かかりつけ医との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・かかりつけ医がいない方、病院にかかっていない方への情報提供を積極的に行う。医師会のホームページから検索できるようになっており、具体的にどのように周知していくかを次回以降に議論していく。</li> <li>・往診とショートステイの周知に関して、様々な方に知ってもらうために相談支援専門員への周知だけでなく、もう一つ先を検討する。</li> </ul> <p>○障碍(がい)啓発に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・駅周辺バリアフリー基本構造作成に向けたヒアリングに参加。現状、トイレは和式で入口は段差があり、改札まで階段しかない等課題が多くあった。</li> <li>・宝塚市障害者スポーツ協会で9月9日にレッツチャレンジ・パラスポーツを開催。160名の方が参加。</li> </ul> <p>○まちづくり協議会と連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度からの課題となっていた無関心層に対してどのように発信していくかについて、グループ内で議論していく。</li> </ul> <p>○情報提供</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社協より、小学校・中学校に対して福祉教育として当事者と出会っていただけのように事業を行っている。依頼も入っており打ち合わせの段階。内容に関しては学校の希望に合わせている。⇒次回、進捗状況を報告する。</li> </ul>

	<p>まちづくり協議会のネットワーク会議にて、「障害(がい)」のキーワードがここ数年増加傾向。しかし、理解はするがその先をどうすればいいかイメージが難しい状況。</p> <p>・保健所より、令和3年度末に人工呼吸器を使用している難病患者26名(宝塚市・三田市)を対象にアンケートを実施。ショートステイや災害時の避難場所について心配に思われている方が多い。近隣の医療機関で避難入院を希望される方は63%、難病で専門医にかかられている方は市外が多く、停電の際は近くの病院で呼吸器の対応を希望されている。</p>
--	---

【今後について】

・医療、かかりつけ医との連携について

かかりつけ医の情報提供を積極的に行う。医師会のホームページから検索できるようになっており、具体的にどのように周知していくか。また、往診とショートステイの周知に関しても、様々な方に知ってもらうために相談支援専門員への周知だけでなく、もう一つ先を検討する。

・まちづくり協議会との連携について

昨年度からの課題となっていた無関心層に対してどのように発信していくか議論していく。

・冊子のお披露目会について

周知として、精神障害(がい)に関する映画の上映会も兼ねて冊子のお披露目会を検討していく。

・今後の進め方について

今年度の取り組みテーマである、「医療・かかりつけ医との連携」「まちづくり協議会との連携(障害(がい)理解の啓発)」「冊子のお披露目会(啓発として)を企画」の3つのテーマを各グループに分けて話し合いをする。

# ● けんり部会 活動経過報告

第1回 けんり部会 会議議事録	
日時・場所	令和5年6月12日(月) 13:30~15:30 宝塚市役所 基幹相談支援センター会議室
出欠者	出席者:18名 欠席者1名
議題	内容(決定事項等について)
1. 常任委員紹介及び部会長・副部会長の選任	<ul style="list-style-type: none"> <li>・部会長・副部会長の選任。</li> <li>・常任委員紹介。</li> </ul>
2. 昨年度全体会の報告	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基幹相談支援センターより説明。</li> </ul>
3. 昨年度の振り返りと地域移行の実践進捗について報告	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域移行の実践の進捗について事務局より説明。</li> <li>昨年度ありまこうげんホスピタルを訪問し、任意入院でありながらも長期入院となっている方を6名確認。個別ケースを通し病院相談員と顔見知りになりながら今後の支援に向けた関係づくりや、病院に対して地域移行に向けた関わりのアピールをするなど、今は実践を積み上げていくための動きを取っている。</li> <li>・昨年度までの取り組みについて部会長より説明。</li> <li>病院からの地域移行について長年協議してきた。様々な課題がある中で、宝塚ではまず実践を積み上げていくためにも、病院の相談員と顔の見える関係づくりから始めようと取り組んでいるところである。</li> </ul>
4. 今年度の取り組みについて意見交換	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「けんり部会」では、地域移行支援についても継続協議とする。新たに「けんり」についても協議テーマとしていく。</li> <li>・「けんり」とは何か。成年後見制度利用促進計画の中に“権利擁護支援の促進”の記載があり、意思決定支援と侵害された権利の救済と明記されている。その人らしく地域で暮らしていくために、権利を行使しようとしたとき、権利侵害されている、権利行使できないという場面に対し支援をすることが権利擁護支援となる。</li> </ul> <p style="text-align: center;">■意見交換</p>



	<p>○住居の問題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・障害(がい)を理由に賃貸住宅を貸してくれない。</li> <li>・「奇声を発しますか?」と、ご本人もいる中で不動産屋に尋ねられた。</li> <li>・「グループホームを建てることは良いと思うが、自宅の横には建てないで」と言われる。</li> </ul> <p>○医療の問題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・通院において、院内は原則ヘルパーの支援対象外だが、知的障害(がい)等がありヘルパーと一緒にいてもらわないと、自身の体調の説明や医師の説明の理解ができない方もいる。</li> <li>・ヘルパー同行だと説明が不親切だが、身内や民生委員が同行することで丁寧な説明をする医師がいた。</li> <li>・精神疾患や知的障害(がい)を理由に入院や治療を拒まれることがある。</li> </ul> <p>○意思決定支援の問題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・障害(がい)故に世間の一般的な規範から逸脱してしまう方がいる。権利を考えたときに行動制限は駄目なことだとわかってはいるが、地域で暮らしていくからこそ守るべきルールもある。</li> <li>・支援者として本人の思いに沿いたいと思うが、本人の思いを家族が受け入れることが難しいことがある。支援者として、どのように家族に理解を促すのか。</li> </ul> <p>○合理的配慮の問題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・手順書があれば作業従事可能な方と支援者は見立ててA型事業所の体験をしたが、「即戦力にならないから」と利用につながらなかった。</li> </ul> <p>○触法ケースの問題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用契約締結後、現場職員が「怖い」「支援することができない」となり、グループホーム利用を拒否された。福祉の現場でも触法の捉えは様々。</li> <li>・触法ケースであったことを伝える・伝えないはご本人の希望による。伝えることで受け入れる側も周囲の関係者と一緒にクライシスプラン(病状悪化の対処に関する計画)を考えることができるメリットはある。</li> </ul> <p>○障害(がい)理解や行政の問題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・任意入院の方の状態が悪化し医療保護入院への切り替えが必要となったが、親族の同意が得られずご本人が退院すると言い出したケースがあった。生活保護担当課(他市)に連絡すると、勝手に退院するのだから交通費も出さないし再入院した場合の医療費も支払わないと言われたことがあった。</li> </ul>
--	--

	<p>○地域の方との関わりについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自身の障碍(がい)を認めていない方で被害妄想の強い方がいるが、同じ地域住民として相談してきてくれるのはよいが、どのように付き合っていけばいいのかわからない。</li> <li>・8050 問題。</li> </ul> <p>○安全確保、今後の支援に関する問題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・110 番通報を受け駆けつけても、入院となるケースは少ない。揉めないよう家族の分離を図るが、結局は家族の元へ戻り再度 110 番通報を繰り返す方もいる。一時的に生活を分離できる場所などがあると、その間に行政が介入するなどでき、変わる可能性もあるのでは。</li> </ul> <p>※委員から出された意見を三役で改めて確認しながら、今後の協議テーマについては検討を予定。</p>
5.その他	<p>・けんり部会開催日程について</p> <p>第 2 回 8 月 8 日(火) 宝塚市役所 2-3 会議室</p> <p>第 3 回 10 月 23 日(月) 宝塚市役所 2-3 会議室</p> <p>第 4 回 12 月 14 日(木) 宝塚市役所 2-3 会議室</p> <p>第 5 回 2 月 13 日(火) 宝塚市役所 第 2 庁舎 会議室 B</p>

<b>第 2 回 けんり部会 会議議事録</b>	
日時・場所	令和 5 年 8 月 8 日(火) 13:30~15:30 宝塚市役所 2-3 会議室
出欠者	出席者:14 名 欠席者:3 名
議題	内容(決定事項等について)
1.地域移行支援の動きについて(事務局より)	<p>令和 5 年 8 月現在の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域移行支援事業 支給決定 3 件(病院:1 施設:2)</li> <li>・地域移行支援事業 開始時期調整中 5 件(病院:3 施設:2)</li> <li>・精神科病院から、委託相談支援事業所への退院支援協力依頼が昨年度より増えている傾向もある。</li> </ul> <p><b>【質疑】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域移行支援を行う中で見えてくる課題は次回以降、部会で挙がってくると考えてよいか?</li> </ul> <p>⇒事務局)宝塚市自立支援協議会事務局会議の場で協議を予定しているが、課題がすぐ見えてくるものなのか、地域移行支援事業を終えた後に振り返り見えてくるものなのか、現段階では分かりかねる。挙がってき</p>

	<p>た際には、必ず部会に報告を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・宝塚市は地域移行支援事業の支給延長を認めているのか？</li> </ul> <p>⇒市) 必要性を勘案したうえで、柔軟に対応している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・宝塚市は地域移行支援の支給決定件数を施設と病院で分けて把握しているのか？</li> </ul> <p>⇒市) 分けて把握はしていない。必要であれば確認することは可能。</p>
2.意見交換	<p>○住居の問題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・住居の問題を考える際、住んで暮らしていく中での問題は「くらし部会」、住居を探す・確保する段階での問題は「けんり部会」と棲み分けて考える。</li> <li>・地域の中で、高齢者や障碍(がい)当事者、障碍(がい)があるかもしれない方の対応に困っている大家からの話を聞くことがある。</li> </ul> <p>住居を探す、確保する段階で大家の困りごとを軽減・解消することができれば、障碍(がい)を理由に入居を拒むことがなくなり、障碍(がい)者の暮らしを守ることに繋がるのではないか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大家が相談できる場や仕組みについて考える必要もあるのではないか。</li> <li>・大家は「出ていってほしい」と思っていたとしても、入居している方にも住む権利はある。ただ、やはり他人に迷惑をかけないという基本的なルールが守られてこそとなるので、守られていない状況があるのであれば大家の相談に乗りながら介入方法を検討することが必要。</li> <li>・大家が相談できる場所は保健所、委託相談支援事業所、基幹相談支援センター等が考えられる。地域の一番身近な相談窓口としては各地区の委託相談支援事業所が窓口になることが望まれる。しかし、委託相談支援事業所の認知度が低いことが現状の大きな課題と考えられる。</li> <li>・宝塚市の場合、障碍(がい)のある方であれば委託相談支援事業所、障碍(がい)かどうか分からない・障碍(がい)を認めていない方であればせいかつ応援センター、どちらの支援も拒めば社会福祉協議会の地区センター等と、どこかが関わることでできる相談支援体制がある。</li> </ul> <p>部会長より</p> <p>住宅の問題はとても重要な問題。</p> <p>大家(もしくは仲介業者)だけが抱える問題ではなく、困りごとが生じた時にどうやって支援者と繋がっていくのか、あるいは住宅が借りられない等、本人が困った時にどう支援者と繋がっていくのか、今後考える必要がある部分である。次回以降で継続して議論ができれば。</p>

	<p>○地域の方との関わりについて(支援者としてではなく、一地域住民として相談を受けた場合)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・近隣住民として近所の方から相談を受けたとき、「誰にも言わないでね」と相談を受けることがあったとしても、自分一人で抱えることが難しい、支援者に繋がるのが望ましいと考えた場合には「誰にも言わないでねと言われている」と伝えたくて委託相談支援事業所に相談することが望ましい。</li> <li>・地域の中で気になる家庭があった時、8050 問題をはじめ、まずは「気になる家庭があるのだけど」と声を上げる、知る機会を作るところが大切だと意識してほしい。</li> </ul> <p>※高齢者の相談窓口が地域包括支援センターであることは地域住民にも認知されている。が、障碍(がい)の相談窓口が委託相談支援事業所であることの認知度は低い。委託相談支援事業所の周知方法に課題あり。</p>
--	---

【今後について】

第 1 回宝塚市自立支援協議会けんり部会で委員からあげられた意見について、順次協議を予定。複数回にわたり継続協議するものもあれば、委員で意見を出し合い整理することで終結とするものもあると考えられる。「地域移行」も含めた「権利擁護」について、課題整理と展開を検討する予定にある。

## ● しごと部会 活動経過報告

第1回 しごと部会 会議議事録	
日時・場所	令和5年5月18日(木) 13:30~15:00 市役所第2庁舎 B 会議室および Zoom
出欠者	出席者17名 欠席者2名
議題	内容(決定事項等について)
1. 宝塚市自立支援協議会について	・しごと部会事務局基幹相談支援センターより、自立支援協議会の説明を行う。
2. 自立支援協議会全体会の報告	・しごと部会事務局基幹相談支援センターより、全体会の協議内容について説明を行う。
3. 三役の選任	・部会長・副部会長の選任。
4. 自己紹介	・委員・事務局が、所属団体の紹介・活動内容、自身の職務・自身の性格などを交えて自己紹介を行う。
5. 昨年度までの部会活動の振り返り	・部会長より、前年度の部会活動の報告がある。 ・事業所合同説明会は、Youtube ライブ配信で実施した。 ・事前課題を会議前に配信し、会議の場で共有する取り組みを行っている。ここ2年は「はたらくとは?」というテーマで行っている。 ・特別支援学校での実習や進路指導についての課題の事例を協議した。
6. 共同受注窓口グッドジョブからの報告	・グッドジョブ理事長より、グッドジョブ設立の経緯、現在の状況などの報告がある。 ・市内の通所施設の工賃の向上を目的として、6年前より検討を行い法人化、市から補助金を受けて運営しているため、毎回、しごと部会で報告をしている。 ・2022年度は、約800万円の収益、毎年10-20%ずつ収益が上がっている。
7. 今年度の部会活動について	・部会長より、前年度の活動を踏まえて、今年度の活動についての提案がある。 <お題について> ・今年度も継続する。 ・テーマによって、個人の意見を求めるもの、所属団体としての意見を求める

	<p>ものがある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・所属団体の意見を求めた場合は、事前に所属団体に意見をとりまとめて出席してほしい。</li> </ul> <p>&lt;事業所合同説明会について&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度は、対面・オンラインのハイブリット開催を目指す。</li> <li>・開催時期については、8月・9月頃の開催を目指す。</li> </ul> <p>(委員からの意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・夏休み期間での開催であれば、家族も一緒に参加しやすい。学校もないため、土日開催でなくてもよい。</li> </ul> <p>→ワーキング G を立ち上げ、具体的に協議を進めていくことになる。</p> <p>&lt;しごとの体験会について&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・こやの里特別支援学校の生徒を対象として開催を目指す。</li> <li>・こやの里に通う生徒は、4市1町にまたがるため、宝塚市の生徒のみを対象とするのではなく、宝塚市の本部会で今年度は開催し、次年度以降は、他市の自立支援協議会しごと部会とも意見交換をしながら、合同での開催なども考えていく。</li> </ul> <p>(委員からの意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高2の秋に1回目の実習、高3の夏に2回目の実習となるため、対象は高1とし、2年3年の現場実習へスムーズにつながるようにする。</li> <li>・今年度の高1は59名在籍している。この人数を1回で対応するのは難しいのではないか。2日開催や午前午後の2部制にするなども必要ではないか。</li> <li>・イメージとしては、体育館の四隅にブースを設け、生徒がそれぞれの場で体験する。</li> </ul> <p>→学校の管理会議で協議してもらい、承認が得られれば、学校で開催。難しいようであれば、学校外の会場で開催を検討する。</p> <p>→ワーキング G を立ち上げて、具体的に協議を進めていくことになる。</p> <p>&lt;その他意見&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・近隣市の自立支援協議会との交流など接点を持つ機会を作ってはどうか？</li> </ul> <p>→他市の自立支援協議会も、基幹相談支援センターや行政が事務局となっていることが多いため、見学や交流などを調整することも可能である。他部会では、他市の部会を見学に行った実績もある。</p>
今年度の部会開	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務局より、今年度の部会開催日時について確認を行う。</li> </ul>

催の日程について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今までは、奇数月、第3木曜日、13:30~15:00の開催となっている。(委員からの意見)</li> <li>・開始時間を14:30~にしてもらえると、参加しやすい。</li> <li>→第2回からの部会は、14:30~16:00へ時間変更することになる。</li> </ul>
----------	---

第2回 しごと部会 会議議事録	
日時・場所	令和5年7月20日(木) 14:30~16:00 市役所第2庁舎B会議室およびZoom
出欠者	出席者16名 欠席者2名
議題	内容(決定事項等について)
1. 共同受注窓口グッドジョブからの報告	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グッドジョブ理事長より、事業報告がある。</li> <li>・今年度、新規の市営住宅の清掃の依頼が3件あった。</li> <li>・キャピリンピックの事務局の依頼を受け、おこなっている。</li> <li>・つくば市議が「宝塚市の優先調達事業」について、宝塚市と意見交換をおこなった。</li> <li>・事務局基幹相談支援センターより、障害者優先調達推進法に関する実績報告がある。R25年度は約900万円の実績からスタートし、近年は約1700万円の実績で推移している。(市HPでも実績が公開されている。)</li> </ul>
2. 事業所合同説明会について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三役より、進捗状況の報告がある。</li> <li>・6/19 作業部会を開催した。(メンバーは、しごと部会三役、委員、事務局の7名に加えて、サービス事業所より2名を加えた計9名)</li> <li>・9/10(日)13:30~中央公民館(オンライン併用)で開催予定。</li> <li>・チラシ、事業所案内文は作成済み。</li> <li>・事業所情報のデータは8月中旬に回収し、冊子作成予定。</li> <li>・こやの里特別支援学校への配布は、9/1の新学期初日に配布。</li> <li>・手をつなぐ育成会では、8月初旬配布可。</li> <li>・市広報は9月号(8月下旬)全戸配布、市HPでも掲載予定。</li> <li>(委員からの意見)</li> <li>・周知の方法として、部会で無料チャットアカウント(パルケPRなど)を作って、情報が得られるようにしてはどうか?</li> <li>→周知の方法は、次年度の課題として検討していく。</li> </ul>
3. こやの里特別支援学校でのしごとの体験	<ul style="list-style-type: none"> <li>・こやの里特別支援学校より、今年度中に校内での開催は難しいとの回答であったため、しごと部会として、できる形での開催を検討していくことになる。</li> </ul>

会について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三役より、姫路市のしらさぎ特別支援学校での実践報告がある。</li> <li>・しらさぎ特別支援学校では、校長先生が主導となって、「事業所説明会」+「職業体験会」を実施している。(宝塚市で実施・協議している「事業所合同説明会」+「しごと体験会」を合わせたような内容) (委員からの意見)</li> <li>・ジョブサポート希望では、三田市の上野ヶ原特別支援学校での意見交換に参加した。学校側も、就労事業所との交流・つながりを求めているように感じた。</li> <li>・こやの里特別支援学校では、希望する教員を対象に夏休みに卒業生の就職先への訪問を行っている。(今年度は7事業所)</li> <li>・学校での進路指導は、進路指導部が主体のため、進路先のことをイメージや理解ができていない教員も多い。担任から保護者へ、もっと進路の話ができるようになっていく必要がある。</li> <li>・放課後等デイサービスや計画相談のことを知らない教員もいる。</li> </ul>
4. お題について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・下記事前課題について、各委員の考えを共有する。</li> <li>①あなたにとって「はたらく」とは何ですか？</li> <li>②働くことに対する本人の意向と、支援者の見立てが一致しない時に、あなたはどのように対応しましたか？ (次回課題)</li> <li>・回答に対するコメントを全委員が行う。</li> </ul>
5. 宝塚市・近隣の優先調達実績について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・副部会長より、優先調達の実績についての情報提供がある。 (宝塚市)</li> <li>印刷:107万円(9件)、清掃・施設管理:1580万円(8件)、その他役務:8万円(2件) (近隣市)</li> <li>伊丹市:1800万円、尼崎市:1650万円、芦屋市:1000万円、猪名川町:831万円、川西市:169万円、西宮市:30500万円</li> </ul>

<b>第3回 しごと部会 会議議事録</b>	
日時・場所	令和5年9月21日(木)14:30~16:00 市役所第2庁舎B会議室およびZoom
出欠者	出席者16名 欠席者2名
	次回予定 令和5年(2023年)11月16日(木)14:30~16:00 市役所第2庁舎会議室B および Zoom
議題	内容(決定事項等について)



<p>1. 共同受注窓口グッドジョブからの報告</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グッドジョブ理事長より、事業報告がある。</li> <li>・上半期の集計としては、昨年度より収益は上がっている。</li> <li>・8月に登録事業所が1事業所増えた。</li> <li>・市内イベントの依頼も増えている。</li> </ul>
<p>2. 事業所合同説明会について</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三役より、開催の報告がある。</li> <li>・9/10 13:30~15:00頃で開催。</li> <li>・中央公民館での対面開催と、YouTube ライブでの配信。</li> <li>・来場者数:38名+十数名</li> <li>・視聴者数:100名程度</li> <li>・撮影した動画は、後日配信予定。</li> <li>(来場者アンケートからの意見)</li> <li>・「さまざまな事業所が集まっているの説明会と伺い来場したが、少なく残念だった」</li> <li>・「生活介護や就Bなどサービス種別で分けてもらえるとう分かりやすいと思う」</li> <li>・「公民館でするなら、海遊館のように物販を通らないと出られないような導線にしたらよかったと思う」</li> <li>(作業部会の振り返り)</li> <li>・スケジュールの管理が甘く、周知に時間が足りなかった。</li> <li>・事業所に対しても説明不足であった。</li> <li>・事業所に対しての意見を回収する際に、フォームなどを活用できればよい。</li> <li>・駐車スペースが足りなかった。場所は駅に近い所が良かったのではないか。</li> <li>・前日が伊丹の合同説明の開催日であったため、他市との兼ね合いも考慮すべきであった。他市と共同で、合同説明会のチラシを作ることができると分かりやすいのではないか。</li> <li>・オンラインでの音声の一部聞き取りにくい場面があった。</li> <li>(委員からの意見)</li> <li>・他のイベントと共同で開催することで集客が見込めるのではないか。</li> <li>・説明ブースの横に物販などの方が良かったのではないか。</li> <li>・もう少し周知が早くできていれば、保護者も予定をつけられたのではないか。</li> <li>・伊丹市の合同説明会は、夏休み前に生徒に配布していたが、参加者は宝塚とあまり変わらない人数であった。案内が早ければ参加者が増える訳ではないかも知れない。コロナ禍の影響かも知れない。</li> </ul>

	⇒今年度末の部会で次年度の年間計画を立て、早めに作業部会を立ち上げ、準備を行っていく。
3.しごとの体験会について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・部会長より、就労体験会についての協議を下半期に向けて行いたいとの提案がある。</li> <li>(委員からの意見)</li> <li>・教員と就労事業所の交流から始めてはどうか。</li> <li>・担任の先生も障碍(がい)者就労についての学びや交流の機会の必要性を感じてはいるが、日々の業務に忙殺されてしまい、時間が取りにくい。夏休みなど学校が休みの時期であれば可能かもしれない。</li> <li>・学校では、地区懇談会として各市各地域で開催しているが、学校で開催し、就労事業所との交流ができる時間を設けてはどうか。</li> <li>・担任の先生に向けて、生徒のしごとの進路の選択肢がわかるような「ガイダンス」のようなものをしごと部会で作成してはどうか。生徒さんに向けては、よりイメージをしやすくするために「絵本」を作ってはどうか。</li> <li>・学校では、特別支援学校の勤務が初めてとなる教員に対して、4月に「進路研修会」を実施している。(進路の流れや福祉サービスについてなど)</li> <li>・学校へのアプローチについては、教育委員会や県のユニバーサル推進課など通じて行ってはどうか。</li> </ul> <p>⇒次回以降も、継続し協議していく。</p>
4. お題について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・7月に共有したお題に対して、各員からのコメントを依頼中。コメントが揃えば、各委員へ渡す予定。</li> <li>①あなたにとって「はたらく」とは何ですか？</li> <li>②働くことに対する本人の意向と、支援者の見立てが一致しない時に、あなたはどのように対応しましたか？</li> </ul>
5. 自立支援協議会定例会・全体会の案内	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務局より、自立支援協議会「定例会」「全体会」の案内がある。</li> </ul>

【今後について】

- ・宝塚市におけるしごと体験会の開催に向けての協議。
- ・学校と就労事業所との交流についての協議。

## ● こども部会 活動経過報告

第1回 こども部会 会議議事録	
日時・場所	令和5年6月7日 13:30~15:00 市役所第二庁舎会議室 AB および Zoom
出欠者	出席者:16名・事務局:4名 欠席者:3名
議題	内容(決定事項等について)
自立支援協議会について	基幹相談支援センター より組織図に沿って説明を行う。 全体会 昨年度の各部会について報告。 コロナの影響で中止していたが、昨年度は2回実施。HPにも記載。
部会長・副部会長の承認について	部会長・副部会長の選任。
自己紹介	各委員より自己紹介を行う。
今年度の議題の確認	<p>■たからっこノートの修正について現時点での修正案の確認。 委員:「お母さんが…」という文言がたくさんある。→母親だけでない文言が良いのでは。 事務局:通知簿・高等学校等の文言で気になるもの等、実際に見て頂きたい。 →次回の会議時に改めて委員に投げかけて行く。</p> <p>■トライアングルプロジェクトについて 共有したい事項 副部会長:「トライアングル」となっているが、医療関係者も入ってくるのではないか。診断を受けたり、処方するには医療が欠かせないと思う。 部会長:関わる人全てが入れば良い形になるのでは。</p> <p>■支援マップの作成について 昨年度からの進捗の共有 部会長:色々な所に繋ぐことが大切。療育手帳はないが、「ちょっと心配」の困りごとに寄り添える、繋がれる、将来に見通しが持てるものを昨年度から作成。 正しい情報にどうつながっていくか。 全員に配布できる事を目標に、3歳児健診や役所、学校、幼稚園など目に付くところで配布できるようにする。今年度末の完成を目指す。</p>

	<p>修学前・就学後に分けて一覧表のたたき台まで作成できている状況。一覧に合わせた冊子を作っていく見通し。</p>
支援マップについて	<p>就学前・就学後・福祉のグループに分かれて、一覧表について協議。</p> <p>福祉:QR コードを再検討してはどうか。情報については各 HP がある為、各 HP に飛べるような一括できるページを作成していくのはどうか。</p> <p>就学後:名称の修正。受け取る人のニーズに合わせた表現。15 歳以降の教育・学校の名称が必要であれば。学童保育の年齢。学校教育課は就学前相談としては、5 歳から関わりがある。</p> <p>就学前:配置の変更。縦軸の順番の検討。</p> <p>次回 8 月のこども部会までに 7 月にプロジェクトメンバー会議を実施予定</p>

<b>第 2 回 こども部会 会議議事録</b>	
日時・場所	<p>令和 5 年 8 月 2 日 13:30~15:00</p> <p>市役所 2-4 会議室および Zoom</p>
出席者	<p>出席者:16 名・事務局:4 名 欠席者:3 名</p>
出欠者	<p>次回予定 令和 5 年 10 月 4 日(水) 13 時 30 分~15 時</p> <p>市役所第二庁舎会議室 A・B</p>
議題	<p>内容(決定事項等について)</p>
たからっ子ノートの修正について	<p>気づいた点を集約しながら来年度以降、見直していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「母親」の文言を母親だけに限らない文言に変更していけたら。</li> <li>・保護者にとって使い勝手がどうなのか、当事者に意見を聞くことも必要なのではないか。どのような方法が良いのか、検討していければ。</li> <li>・電子化に対応できないか。記入する量も多い。</li> </ul> <p>→HP でエクセル版は公開されているが、どのように共有していくか。</p> <p>アプリ化等の検討</p>
支援マップの作成について	<p>7 月にプロジェクトチームで会議を実施。</p> <p>支援マップ作成に向けて、下記グループに分けて作業を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①支援マップとその意図を作るチーム</li> <li>②嬉野市の子育てすごろくを参考に宝塚バージョンを作るチーム。</li> <li>③発達段階に合わせた、困り事や特徴をまとめていくチーム。</li> </ol> <p>グループワーク内容の共有</p> <p>①年代別に分けた方が分かりやすいのではないかという意見が出た。</p>

	<p>また現在使用しているパワーポイントより、違うツールで作成したほうが良いのでは。</p> <p>②嬉野市と宝塚市では自治体の規模が違い、宝塚市では担当課が細分化されている。表示の仕方の工夫が必要。担当課の名前は次回までに確認。</p> <p>③表紙を中心に話し合い。キャッチーなネーミングで、より色々な人に関心を持ってもらえるように考えた。→「子育てあるある」を載せる。</p> <p>また、リーフレット自体のタイトルがあるといいのではないか。</p> <p>発育の特徴は、月齢の幅を大きくして、「子育てあるある」「対処法」でまとめて行く予定。</p>
--	--

【今後について】

- ① 支援マップの完成に向けて進めていく
- ② たからっこノートの中身の見直し
- ③ トライアングルプロジェクトの事例共有